

中学校音楽科の授業において アクティブラーニングがより活性化する方法

—グループワークにおける意見の可視化を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 造形・創造科学系（音楽）

現在、ほとんどの学校や授業でアクティブラーニングは取り入れられている。しかし、場合によってはグループワークやプレゼンなどを行う際に、授業の形式だけを取り入れているというケースも見受けられるとされている。

筆者の実習校の子どもたちは、自分の思いや意図を持ち、主体的に学習に取り組むことができている。そしてその思いや意図を共有しながらグループワークを行うことができている場面もある。その一方で、話し合いが行われるなかで、意見をまとめていくときに、話し合いの中身によっては、自分の意見を取り下げたと感じられる場面もある。そこで、グループワークでの意見交換や共有の手段を工夫して、グループ全員の意見を可視化することで、よりアクティブラーニングが活性化するのではないかと考え、授業実践を行った。その結果、グループワークでの話し合いの際、ホワイトボードに書き出す手立ては有効であった。一方、課題点も見つかったので、改善しながら子どもたちの指導に生かしていきたい。